

第4回 新・神戸文化ホール整備基本計画検討委員会

日時：平成31年1月10日（木）10：00～

場所：神戸市役所4号館1階 本部員会議室

議 事 次 第

1. 開 会

2. 検討委員会（委員の紹介）

「新・神戸文化ホール整備基本計画検討委員会 委員名簿」 (資料1)

「第4回 新・神戸文化ホール整備基本計画検討委員会 座席表」 (資料2)

3. 議 事

基本計画（素案）「4.施設計画」修正案について (資料3)

「第3回ワーキングについて」 (資料4)

「意見募集の結果について」 (資料5)

5. その他

6. 閉会

新・神戸文化ホール整備基本計画検討委員会委員

(1) 整備基本計画検討委員会

	委員	所属・役職	備考
芸術家・芸術文化団体関係者	貞松 正一郎	(一社) 貞松・浜田バレエ団 理事・芸術監督	洋舞分野 日本バレエ団連盟理事
	服部 孝司	神戸市民文化振興財団理事長	現神戸文化ホール指定管理者 神戸市室内合奏団、神戸市混声合唱団
	宮本 慶子	兵庫県音楽活動推進会議代表 神戸マリンバソサエティ主宰	器楽(洋楽・クラシック)分野 神戸芸術文化会議舞台芸術部会長
	森 もりこ	劇団自由人会代表 兵庫県劇団協議会代表	演劇分野 神戸文化ホール検討会議メンバー
学識経験者等	斉田 好男	神戸大学名誉教授 全日本合唱連盟常務理事	指揮、オペラ・管弦楽・吹奏楽 分野
	清水 裕之	名古屋大学名誉教授 文化経済学会元理事長	ホール空間計画分野
	徳永 高志	アートNPO ココア理事長 慶應大学文学研究科非常勤講師	ホール運営分野 H28年度文化ホールあり方検討外部委員
	根津 昌彦	(合) ゼンクリエイト代表 兵庫県合唱連盟理事	まちづくり・賑わい分野 三宮中央通りまちづくり協議会コンサルタント 三宮クロススクエア WS ファシリテータ
	藤野 一夫	神戸大学大学院 国際文化学研究科教授	文化政策分野
経済界	伊藤 紀美子	田嶋(株) 代表取締役社長	神戸商工会議所副会頭
	中内 仁	(株)神戸ポートピアホテル 代表取締役社長	経済同友会副代表幹事 MICE 担当
議会	高瀬 勝也	神戸市議員	文教こども委員会委員長
	かわべ 宣宏	神戸市議員	文教こども委員会副委員長

(2) テクニカルアドバイザー

豊田 泰久 (音響設計家、(株)永田音響設計ロサンゼルス事務所・パリ事務所代表)

資料 2

第 4 回 新・神戸文化ホール整備基本計画検討委員会 座席表

服部委員

清水委員長

藤野委員

徳永委員

斉田委員

●

●

●

●

●

					● 根津委員
高瀬委員 ●					
かわべ委員 ●					● 森委員
宮本委員 ●					● 伊藤委員
貞松委員 ●					● 中内委員

事務局	空間創造研究所
● ● ●	● ● ●

住宅都市局	行財政局
● ● ●	● ● ●

住宅都市局	企画調整局
● ● ●	● ● ●

傍聴席 (椅子のみ)
● ● ● ● ● ● ● ● ● ●

4. 施設計画

(1) 基本性能の整理

1) 新・神戸文化ホールとして整備する機能

①大ホール機能

- ・ 客席数 1,500 席以上
- ・ プロセニウム形式を基本とする舞台
- ・ 奈落（床機構設備については別途検討）
- ・ 可動型音響反射板を備え、生音を活かした音楽利用から舞台芸術、集会利用にも対応
- ・ 前舞台としても活用できるオーケストラピット
- ・ 多層バルコニー客席

②中ホール機能

- ・ 客席数 700 席～900 席程度
- ・ 音楽専用ホール
- ・ 多層バルコニー客席

2) 中央区の新たな文化施設として整備するホール機能

- ・ 客席数 500 席程度
- ・ プロセニウム形式を基本とする舞台
- ・ 奈落（床機構設備については別途検討）
- ・ 可動型音響反射板を備え、生音を活かした音楽利用から舞台芸術、集会利用にも対応

3) ホールに共通した楽屋機能

- ・ 出演者がリラックスできるような空間
- ・ ホールとの導線

4) その他に新・神戸文化ホールとして整備が求められる機能

① 創造支援機能

- ・ リハーサル室、練習室の充実及び各ホール等と連携した柔軟な運用
- ・ 先進事例を踏まえ、リハーサル室、練習室のうち、必要に応じて小規模公演などが行える仕様を検討する
- ・ リハーサル室、練習室などの活動を支える諸室（楽器庫、譜面庫、大道具製作室、衣裳室など）
- ・ 創造支援活動を支える専門スタッフの控室、打合せ室、更衣室など
- ・ 自主事業の創造に優先的に利用できる大型練習室の確保
- ・ 利用団体・個人が相互に交流できる交流サロン

② 交流機能

- ・ 情報ラウンジ（併設予定の図書館との連携も検討）
- ・ 飲食ラウンジ
- ・ ホワイエ など

③ 管理機能

- ・ 事務室、応接室、打合せ室、倉庫等
- ・ 警備員室
- ・ 機械室 など

(1) 基本性能の整理

①大ホール機能(多目的ホール) ⇒ **バスターミナルⅠ期での整備**

神戸の芸術文化作品の創造と発信を通じて神戸の魅力を高める機能として整備し、現文化ホール大ホールの機能を備えた計画とします。

- ・ 客席数 1,800 席程度
- ・ プロセニウム形式を基本とする舞台
- ・ 奈落（床機構設備については別途検討）
- ・ 可動型音響反射板も備え、生音を活かした音楽利用から舞台芸術、集会利用にも対応
- ・ 前舞台としても活用できるオーケストラピット
- ・ 多層バルコニー客席

②音楽専用ホール機能 ⇒ **本庁舎 2 号館再整備での整備**

神戸の音楽文化を発信する機能として新たに整備します。現文化ホール中ホールの音楽利用にも対応します。

- ・ 客席数 700 席～900 席程度（要検討）
- ・ 音楽専用ホール
- ・ 多層バルコニー客席
- ・ 神戸市室内管弦楽団・神戸市混声合唱団の活動拠点として活用

③多目的ホール機能 ⇒ **バスターミナルⅡ期での整備**

現・文化ホール中ホールの機能とあわせ、中央区の区民ホールの機能を備えます。

- ・ 客席数 700 席程度
- ・ 多様な表現に対応できる舞台
- ・ 舞台芸術（舞踊・伝統芸能・演劇など）、集会利用に配慮した多目的ホール
- ・ 多層バルコニー客席

④創造支援機能 ⇒ **各ホール機能に則して整備**

- ・ リハーサル室、練習室の充実及び各ホール等と連携した柔軟な運用
- ・ 先進事例を踏まえ、リハーサル室、練習室のうち、必要に応じて小規模公演などが行える仕様を検討する
- ・ リハーサル室、練習室などの活動を支える諸室（楽器庫、譜面庫、大道具製作室、衣裳室など）
- ・ 創造支援活動を支える専門スタッフの控室、打合せ室、更衣室など
- ・ 自主事業の創造に優先的に利用できる大型練習室の確保
- ・ 利用団体・個人が相互に交流できる交流サロン

⑤交流機能 ⇒ **各ホール機能に則して整備**

- ・ 情報ラウンジ
- ・ 飲食ラウンジ
- ・ ホワイエ など

⑥管理機能 ⇒ **各ホール機能に則して整備**

- ・ 事務室、応接室、打合せ室、倉庫等
- ・ 警備員室
- ・ 機械室 など

現・文化ホールとの関係性

大ホール機能

新しい機能

中ホール機能

区民ホール

練習場

主に音楽利用

主に舞台芸術利用

新・神戸市文化ホール

第3回 新・神戸文化ホール整備基本計画検討委員会 ワーキング 議事要旨

日時：平成30年12月17日（月曜） 10：00～11：30

場所：神戸市役所1号館 14階大会議室

市よりこれまでの経過や状況を説明

- 8月の第3回検討委員会までの議論では、バスターミナル（Ⅰ期）に大ホールと併せて中央区の新たな文化施設として整備するホールを700人規模にし、現文化ホールの中ホールと同様、舞台袖を十分確保した舞台芸術にも対応できるホールにならないかなど、いくつか課題をいただいた。
- 9月にバスターミナル（Ⅰ期）の事業者が決定したため、検討委員会やワーキングで議論いただいたことを具現化できるか検討をおこなった。

これまでいただいたスペックで2つのホールをバスターミナル（Ⅰ期）で配置した場合

- ① 大ホールは、概ねの機能確保は可能
- ② ただし、中央区の新たな文化施設として整備するホールは、現文化ホールの中ホールと同等規模の舞台袖の確保が困難
- ③ 中央区の新たな文化施設として整備するホールを大型化する場合、搬入E Vも大型化するため、ホール横への配置が困難
- 基本計画（素案）に対する市会代表の委員からのご意見
 - ① バスターミナル（Ⅰ・Ⅱ期）において大ホールと併せて、中央区の新たな文化施設として整備するホールを中規模（700席程度）の多目的ホールとして一緒に整備することで、現在の利用者の様々なニーズにも対応できるようにすべきではないか。
 - ② 市役所2号館跡地の中ホールを音楽専用ホールとしてつくるならば、利用率向上の観点も踏まえて検討するべき。また、今まで以上に全国大会や国際大会を呼んで来られるような立派のものをつくってほしい。
- バスターミナル（Ⅰ期）は平成37年頃に完成する予定。バスターミナル（Ⅱ期）のスケジュールはまだ検討段階。完成時期はⅠ期よりも遅くなる。

ワーキングでのご意見

【バスターミナル（Ⅱ期）での中規模ホール整備について】

- 今回整備するホールは、最大限良いものをつくることを優先するべきであり、バスターミナル（Ⅱ期）での整備はやむを得ないのではないか。
- バスターミナル（Ⅱ期）に整備する中規模ホールは、700席を確保し、裏動線なども含め、舞台芸術の公演にとって利用価値の高いホールをつくれることが望まれる。
- ホールにとって舞台袖はとても大事で、舞台袖が狭いためにできないということが沢山ある。
- 現状、文化ホールは稼働率が非常に高い。中ホールが埋まっているので大ホールを代替

で使っているという話も聞いている。市民ニーズとしては普通の貸館ニーズが高いので、市民の日常の活動で 600 人～700 人が入るものをどこかで受け止めねばならない。そのためには、三宮に中規模ホールができるまで、現文化ホールの中ホールを残せないか。

【ホールの完成時期がずれることについて】

- バスターミナル（Ⅱ期）に中規模ホールを整備する場合、バスターミナル（Ⅰ期）に整備する大ホールより完成時期が遅れることになるが、文化ホールの中規模ホールの機能は確保する必要があるため、その間、現文化ホールの中ホールを維持することが望ましい。
- 中規模ホールの完成時期がずれるのであれば、現文化ホールをきちんと改修すべき。完成時期が分からないが、仮に 2030 年以降だと相当先なので、中ホールの機能をきちんと現状以上に使いやすいものとなるよう早期に改修すること。
- 時期がずれたとしても良いものをつくってほしい。そのために 4～5 年遅れても良いと思うが、舞台袖などは一番大事な部分である。

【創造支援機能について】

- バスターミナル（Ⅰ期）に大・中規模ホールを配置すると、創造支援機能のスペースもほとんど取れないのではないか。逆にいうと、中規模ホールがバスターミナル（Ⅱ期）になることによって、創造支援機能のスペースが大ホール側に確保できるのではないか。
- 大ホール側に創造支援機能がきちんと取れるならば、練習に加え発表会などにも使える大きな練習室もつくるのがホールに多様性をもたせるために必要。

【運営について】

- バスターミナル（Ⅰ期）に整備する大ホール、バスターミナル（Ⅱ期）に整備する中規模ホール、市役所 2 号館跡に整備する音楽専用ホール、この 3 つのホールが同一条例で一体運営できるようにすべき。
- ただし、バスターミナル（Ⅱ期）に整備する中規模ホールは中央区民が利用できる環境にも十分に配慮すべき。
- 運営する立場からみると、大ホールと中規模ホールが近くても、音楽専用ホールが遠ければ管理運営面から検討すべきことが多くなる。

【その他】

- バスターミナル（Ⅱ期）の事業者はまだ決まっていないので、事業者が決まり次第、現在の検討内容を反映できるよう、市役所内でしっかりと体制づくりをしてもらいたい。
- これまで、運営や事業などのソフト面の話があまりできていない。来年度はソフト面について考える場を設けることを検討してもらいたい。
- ホールの整備・開館に向けた準備室の体制を早期に設置する必要がある。

市民意見募集結果

幅広く市民の意見を聴取するため、第3回 新・神戸文化ホール整備基本計画検討委員会後に、当日の資料や議事要旨を市ホームページや各区役所、区民センター等で閲覧できるようにして、市民からの意見を募集しました。

また、意見募集を行う旨を市ホームページや広報紙9月号に掲載して周知を図りました。

募集期間	平成30年9月3日（月曜）～9月25日（火曜）
提出方法	郵送、FAX、電子メールまたは持参
意見提出数	15通

（1）機能・仕様・運営について

（主な意見）

- ・現文化ホール（特に中ホール）の機能を維持したホールを建設して欲しい。
- ・中央区の新たな文化施設として整備するホールを700席以上にして欲しい。
- ・障がい者の方がオムツ替えを出来るベッドを付けて欲しい。色んな障害のある人の声を拾って欲しい。
- ・夜遅い公演（20時開演など）を行えば、他都市のホールとの差別化が出来ると思う。
- ・マイナー劇団なども誘致して、演劇をやって欲しい。
- ・素案に書かれているミッションの意図をよく理解し、実施できる人材を探すことや、そうした人材を起用できる役所側の体制づくりが重要。

（2）その他

（主な意見）

- ・大倉山のままで良い。（同一趣旨 ほか6件）
- ・三宮に一極集中した際、南海トラフ地震などの大規模災害時に、どのように都市機能を維持し、市民の生活を守るのか。（同一趣旨 ほか1件）